大社32年ぶり甲子園

島根大会
夏の高校野球

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
石見智翠館	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2
大社	0	0	1	0	0	1	1	0	X	3

夏の甲子園出場を決め、喜ぶ大社ナイン＝島根県立浜山公園野球場

石見智翠館との接戦制す

第106回全国高校野球選手権島根大会最終日は27日、県立浜山公園野球場で決勝が行われ、大社が3―2で石見智翠館を下し、1992年以来32年ぶり9度目の夏の甲子園出場を決めた。公立校が優勝するのは2022年の浜田以来2年ぶり。全国大会は8月7日、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場で開幕する。

大社はノーシードで、1回戦から6試合を勝ち抜いた。

石見智翠館との決勝は、1点を追う六回に園山のスクイズで同点。さらに七回には先頭の俊足・藤原が四球で出塁し、盗塁と犠打を絡めて一死三塁とし、石原のスクイズで勝ち越した。投げてはエース馬庭が強打の石見智翠館打線を2点に抑え、完投した。

大社は昨秋の県大会で3位。今春はベスト16で敗退した。今大会は好投手擁する出雲商を退け、勢いに乗った。

最後に甲子園に出場した1992年以降、過去6回決勝に進み、いずれもあと一歩のところで涙をのんできたが、決勝の壁を打ち破った。全国大会の組み合わせは8月4日に決まる。

一致団結の勝利

大社・石飛文太監督の話

一致団結で勝ち取った勝利。よくやったと声をかけたい。32年ぶりに聖地に戻ることができた。歴代の監督、保護者、選手の思いを込めて戦いたい。

決勝までの戦績

▽1回戦　11―1　益田
▽2回戦　10―0　松江高専
▽3回戦　5―0　出雲工
▽準々決勝　3―1　出雲商
▽準決勝　7―1　開星

大社・メンバー表

部長	井上　誠也		
監督	石飛　文太		
投	馬庭　優太③	出雲北陵	
捕◎	石原　勇翔③	松江四	
一	高梨　壱盛③	西郷	
二	安井　貫太②	大田二	
三	高橋　翔和③	湖陵	
遊	藤江龍之介③	河南	
左	下条心之介③	出雲二	
中	藤原　佑③	佐田	
右	高橋　蒼空③	湖陵	
控	岸　恒介③	〃	
〃	石橋　隆吾②	〃	
〃	安松　大希②	東出雲	
〃	手銭　陽太③	浜山	
〃	安部　莉生③	西郷	
〃	園山　純正③	出雲三	
〃	三成　敢太③	〃	
〃	福間　椋③	玉湯学園	
〃	白石　柊太②	大田二	
〃	原田　悠翔①	境港二	
〃	山本　佳汰③	五箇	

※左からポジション、氏名、学年、出身中。◎は主将。メンバーは大会開幕時の登録

野球部小史

1898年創設の島根県簸川尋常中学校を前身とする県立高。1949年から現校名。県内唯一の体育科がある。野球部は杵築中時代の1901年に創部。夏の甲子園は過去8度の出場で通算4勝8敗。大会最高成績は1917年のベスト4。現部員64人（1年25人、2年18人、3年21人）。OBに石橋貢さん（元大洋など）、曽田康二さん（元中日など）らがいる。出雲市大社町北荒木。

山陰中央新報

発行所
山陰中央新報社

松江市殿町383
郵便番号 690-8668
電話 総合案内 0852(32)3440

号外

Sデジ

大社の優勝への軌跡を振り返るウェブページを山陰中央新報デジタルで公開しています

山陰中央新報の購読お申し込みは
0120―49―2550
受付時間 9：30～17：30（日曜、祝日除く）